

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-4-5	事務事業名 道路反射鏡設置工事	所管部課 都市整備部道路管理課					
事務事業の概要	事務事業の目的 道路安全施設を整備することにより、道路交通の円滑化を図るとともに、交通事故の防止及び道路通行者の安全を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)防犯・交通安全の推進 (主要施策)交通安全施設の整備					
	実施内容、実施方法 道路の見通しの悪い箇所に道路反射鏡を設置する。	根拠法令等 道路法					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 設置工事実施件数	活動指標の考え方(定義) 市民要望のうち危険な個所への道路反射鏡設置工事の実施件数					
	成果指標名 道路反射鏡の総数	成果指標の考え方(定義) 道路反射鏡設置総数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		4,197	4,412	4,519	3,684	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		4,197	4,412	4,519	3,684	
	所要人員(B)	人	0.14	0.15	0.13	0.14	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,154	1,241	1,083	1,166	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	5,351	5,653	5,602	4,850	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(設置工事実施件数)	千円	144.63	148.76	160.05		
	歳入	千円	0	0	0	0	
	活動指標	目標値	件				
		実績値	件	37	38	35	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	基			2,401		
	実績値	基	2,365	2,401	2,436		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	駐車場及び私道等の私有地からの出入口に対する設置要望があるが、私有地からの見通しの悪い箇所においては市で設置できない旨を説明している。					
	国・都・他市・民間等における類似事業	都道と市道が交差する箇所において、都道管理者は道路反射鏡を都道内に設置しない方向で検討している状況である。					
	運営上の制約条件・外部要因等						

コード 8-4-5	事務事業名 道路反射鏡設置工事	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	--------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	見通しの悪い道路に毎年30基程度の道路反射鏡を新設している。また、宅地開発で事業主が整備した道路で見通しの悪い個所には、事業主の負担で道路反射鏡が設置され、市に移管がされている。 また、既存の道路反射鏡の管理状況を把握するため、市内全域の道路反射鏡を5年間のサイクルで点検作業を実施し、老朽化した道路反射鏡の修繕を順次実施している。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	・現在、市内の見通しの悪い道路には殆ど道路反射鏡が設置されているが、年々市内の宅地化が進んで交通量の増加など環境の変化により見通しの悪い道路には道路反射鏡を設置している。 ・点検作業で発見された老朽化した道路反射鏡の修繕も順次進めている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市内の見通しの悪い道路の殆どに道路反射鏡が設置されており、効率性においては特に問題はない。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	上記の状況であるため、地域的な公平性においても同様に問題はない。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	市内の見通しの悪い道路には殆ど道路反射鏡が設置されているが、環境変化により交通量の増加等で見通しの悪い危険な道路に道路反射鏡の設置を引続き進める。また、老朽化した道路反射鏡の修繕も順次進める。

17年度における改善点	特になし
-------------	------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。